

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年10月30日（金）17:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから10月30日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まずは1番の原子力規制委員会の関係です。

(1) 第36回原子力規制委員会。今回は議題は3つです。

議題1、特定重大事故等対処施設に係る法令報告事象等の公表について（案）。こちらは特定重大事故等対処施設で法令報告事象等が発生した場合における公表の在り方についてはいまだ委員会の了解を得ていないことから、その公表の方針について委員会に諮るものです。

議題2、保障措置に用いる査察用封印のき損事案を踏まえた対応方針について。こちらは9月16日の原子力規制委員会におきまして、国際規制物資に対する査察用封印のき損が発生した場合において、事業者から規制庁に確実に報告させる方策などについて検討するよう委員会の指示がありました。それを踏まえて、規制庁より今後の対応方針の案を委員会に諮るものです。

議題3、ウラン廃棄物のクリアランス及び埋設の規制に関する検討（第2回）。こちらは7月1日の原子力規制委員会におきまして、ウラン廃棄物のクリアランスと埋設処分の規制制度に関して、規制の考え方の全体像を整理するよう委員会の指示がありました。これを受けて作成した資料を委員会に報告するとともに、規則を今後具体化する際に必要となる論点について議論を頂くものです。

続きまして、2番の審査会合の関係です。1枚おめくりいただきまして、2ページ目を御覧ください。一番上から参ります。

11月5日木曜日、(4) 第917回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは、日本原電東海第二発電所の特定重大事故等対処施設の設置変更許可に関する審査を行うものです。

続きまして、その下です。(5) 第381回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は2つございます。

議題の1つ目は、日本原子力研究開発機構（JAEA）の高速実験炉「常陽」の設置変更許

可に関しまして、内部火災対策と重大事故等対策についての9月29日の会合のコメント回答を受けるものです。

議題の2つ目は、京都大学臨界実験装置（KUCA）の設置変更承認に関しまして、安全解析についての説明を受けるものです。

続きまして、その下です。11月6日金曜日、（6）第382回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらの議題ですが、JAEAの高速実験炉「常陽」の設置変更許可に関しまして、基礎地盤の安定性についての概要説明を受けるものです。

続きまして、その下です。（7）第2回検査制度に関する意見交換会合。議題は大きく3つございます。

議題の1つ目は、原子力規制検査を継続的に改善するための検討の進め方と今後のスケジュールについて、事業者と意見交換を行うものです。

議題の2つ目は、令和2年度の第2四半期における原子力規制検査の運用状況について、規制庁から説明を行うものです。

議題の3つ目は、核燃料施設等の重要度評価に関しまして、現在の課題を整理するとともに、今後の検討の方向性について事業者と意見交換を行うものです。

続きまして、1枚おめくりいただいて3ページ目です。一番上から参ります。

11月9日月曜日、（9）第383回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは日本原燃六ヶ所再処理施設の設計工事計画認可に関しまして、10月20日の会合に続いて、引き続き申請対象施設の類型化などについての説明を受けるものです。

続きまして、その下です。（10）第5回福島第一原子力発電所廃炉・事故調査に係る連絡・調整会議。議題は大きく3つございます。

議題の1つ目は、2号機の原子炉建屋内の空間の汚染物質の調査につきまして、資源エネルギー庁などと調整を行うものです。

議題の2つ目は、10月8日の現地調査におきまして採取した試料をJAEAに輸送することについて、関係省庁と調整を行うものです。

議題の3つ目は、原子炉損害賠償・廃炉等支援機構、いわゆるNDFが10月6日に公表した廃炉のための技術戦略プラン2020について、NDFから説明を受けるものです。

最後、3番のその他になります。

11月4日水曜日から9日月曜日、（2）IAEAとの共同事業の一環として実施する海洋試料採取等。こちらは、国際原子力機関（IAEA）と日本が2014年から共同で実施している福島第一原子力発電所周辺海域での海洋モニタリングについて、今年も行うものです。取材対応の予定はございませんが、後日、試料を採取している状況の写真を公開する予定です。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。よろしいでしょうか。

では、ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日のヨシノです。

11月9日の第5回福島第一原子力発電所廃炉・事故調査に係る連絡・調整会議ですけれども、NDFの戦略プランというのは、ここで説明するのですか。委員会で説明するのではなくて、ここになるのですか。

○児嶋総務課長 取りあえずここで、内容として御紹介いただくと聞いています。

○記者 従来はどうしていたのですか。毎年、戦略プランは出ると思うのですけれども。

○児嶋総務課長 たしか私の記憶では、昨年はないと思います。タイミングが合うので、いい機会ということで紹介していただくものと私は理解しています。

○記者 私は、昔の記憶では委員会でやっていた気がするのですけれども、何でここでやるのかがちょっとよく分からなくて。いいです。分かりました。ありがとうございます。

○司会 そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—